

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1025	(H.24)No.	1025
-----------	------	-----------	------

事務事業名		非核平和事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
総務部	総務室	濱田 謙治	63-7310
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 4 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	1	人を大切にする社会の創造
	施策	1	人権尊重
	小 施策	5	平和教育の推進
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	027201
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	非核平和事業
項	総務管理費	(小事業名)
目	諸費	非核平和事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>広島・長崎への原爆投下等の空襲により子ども達を含めた多くの国民が犠牲となった。この事実を再認識し、戦争のない平和な世界への願いを市民に啓発するため、「新しい公」推進のための委託事業等を活用して平和教育を推進する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>市民に「核兵器の恐ろしさ」「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」「命の大切さ」を伝え、非核平和意識の向上を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<p>・提案公募型の委託事業により「非核平和コンサート」を開催 (実施団体) 箕曲コーラスLa.pesca 美旗市民センター 100名 名張中学校(2年) 230名 北中学校(2年) 350名 ・非核平和原爆パネル及び戦争体験記展示 (8/3~8/16 1階市民ロビー) ・懸垂幕の掲出</p>	<p>・提案公募型の委託事業により「非核平和コンサート」を開催 (実施団体) 箕曲コーラスLa.pesca ・非核平和原爆パネル展示 ・懸垂幕の掲出</p>	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	200千円	200千円	200千円	200千円	200千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 200	200	200	200	200
人工数	職員				
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 200千円	200千円	200千円	200千円	200千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	事業参加者	人	-	1,079	1,143	1,000	800
	実績			-	760	880	680	
成果指標	目標	中学生等への非核平和に対する意識 (アンケート結果 良)	%	-	-	-	-	-
	実績			-	95.8	89.7	90.4	
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
参加者の9割から良かったとの意見を得た。	引続き非核平和について啓発していく。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成21年度より主な事業部分は、「新しい公」委託事業として市民に委託している。	中学生だけでなく、幅広く市民が参加出来る機会もつくる。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	他の事業と組み合わせることにより、参加者を増やすことができる可能性はある。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 非核平和について市民に啓発していくことは重要である。

特記事項

--